

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公表番号】特表2013-501562(P2013-501562A)

【公表日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2012-524286(P2012-524286)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月30日(2013.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外科ツールを骨に対して整列させるように構成されたスタイラス組立体であって、
取付け要素と、
前記取付け要素に対して調整可能に設けられた外科ツール用ガイドと、
前記取付け要素に対して調整可能に設けられ、骨のうちの予め定められた部分に係合する湾曲部分を有するスタイラスと、
前記外科ツール用ガイド及び前記スタイラスを前記取付け要素に係止させる係止可能な保持部材と、を有するスタイラス組立体。

【請求項 2】

前記スタイラスは、外科用インプラントの関節の幾何学的形状に一致する曲率を有する、請求項 1 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 3】

前記スタイラスは、さらに、湾曲部分に取付けられたハンドル部分を有する、請求項 1 又は 2 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 4】

前記湾曲部分は、前記ハンドル部分の端部を越えて延びる突出部を形成する、請求項 3 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 5】

前記突出部は、外科用インプラントの固定ペグを移植するための正しい位置を指示するインジケータを有する、請求項 4 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 6】

前記取付け要素は、さらに、第 1 のアーム及び第 2 のアームを有する本体を有し、前記第 1 のアーム及び前記第 2 のアームは、それらの間に、前記外科ツール用ガイドの一部分を受入れる空間を有し、

前記係止可能な保持部材を非係止位置から係止位置に作動させることにより、前記保持部材を軸線方向に移動させ、前記本体を前記外科ツール用ガイドに押付けて身体に係止させる、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体。

【請求項 7】

前記係止可能な保持部材は、前記本体の第 1 のアームから延びる、請求項 6 に記載のス

タイラス組立体。

【請求項 8】

前記係止可能な保持部材は、その自由端部に、拡大されたヘッド部を有する、請求項 7 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 9】

前記スタイラスは、スロット付き部分を有する、請求項 8 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 10】

前記スタイラスのスロット付き部分は、前記保持部材の周りに取付けられ、前記係止可能な保持部材が非係止位置にあるときの前記本体に対する前記スタイラスの並進移動及び回転移動を可能にする、請求項 9 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 11】

前記取付け要素は、さらに、前記第 1 のアーム及び前記第 2 のアームを含む二股状の中間要素を有し、前記係止可能な保持部材は、前記中間要素を貫く、請求項 7 ～ 10 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体。

【請求項 12】

前記中間要素の第 1 のアームの一部分は、前記本体と前記スタイラスの間に位置決めされ、前記係止可能な保持部材は、前記中間要素の第 1 のアームに設けられた孔の中を通る、請求項 11 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 13】

前記中間要素の第 2 のアームは、前記本体の第 1 のアーム及び第 2 のアームの間の空間の中に延びる、請求項 12 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 14】

前記本体の第 1 のアームは、前記中間要素の二股状の第 1 のアーム及び第 2 のアームの間の空間の中に延びる、請求項 13 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 15】

第 1 のクリアランスが、前記中間要素の第 2 のアームと前記本体の第 1 のアームとの間に設けられ、第 2 のクリアランスが、前記保持部材の保持ヘッド部と前記スタイラスとの間に設けられ、前記第 1 のクリアランスは、前記第 2 のクリアランスよりも大きい、請求項 14 に記載のスタイラス組立体。

【請求項 16】

前記係止可能な保持部材は、前記本体に枢動可能に取付けられたカム手段によって、係止位置と非係止位置との間を移動させられる、請求項 1 ～ 15 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体。

【請求項 17】

前記取付け要素に当接する前記スタイラスの表面は、前記外科ツール用ガイドに形成されたツール用ガイド表面と実質的に平行である、請求項 1 ～ 16 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体。

【請求項 18】

前記湾曲部分は、実質的に球形の骨係合面を有する、請求項 1 ～ 17 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体。

【請求項 19】

スタイラス組立体キットであって、

請求項 1 ～ 18 のいずれか 1 項に記載のスタイラス組立体と、

少なくとも 1 つの追加のスタイラスと、を有し、

前記スタイラス組立体のスタイラスと前記追加のスタイラスは、少なくとも湾曲部分にわたって、互いに異なる厚さを有する、スタイラス組立体キット。

【請求項 20】

さらに、少なくとも 1 つの追加の取付け要素を有し、前記スタイラス組立体の取付け要素と前記追加の取付け要素は、互いに異なる高さを有し、異なる取付け要素を選択することによって、選択されたスタイラスが、ツール用ガイドから互いに異なる距離で隔てられ

る、請求項 19 に記載のスタイラス組立体キット。